

# 日本勸業銀行法中改正法律案外二件特別委員會會議事速記録第一號

(七二)

### 委員氏名

- 委員長 伯壽正親町 實正君 副委員長 高橋 新吉君
- 委員 子爵山口 弘達君 子爵新莊 直陳君 男爵小澤 武雄君
- 男爵小早川 四郎君 南郷 茂光君 角田 林兵衛君
- 山本 忠秀君

〔第一回會議(三月六日)ニハ速記ヲ用ヘ  
非サリシヲ以テ第二回會議ヨリ掲ク〕

明治三十五年三月七日(金曜日)午前十一時二十一分開會

○委員長(伯壽正親町實正君) 是ヨリ昨日ニ引續キ開會イタシマス、今日ハ富井君ガ此法案ニ付テ御意見ガアリマスルニ依テ御出席ニナリマシタカラ其趣ヲ……

○政府委員(田部芳君) 昨日ニ引續キマシテ今日委員會ヲ開カレマスニ付キマシテハ昨日ノ終リニ於テ述ベマシタコトニ付テ幾分訂正ヲ加ヘ且ツ補ッテ置クコトガ第一必要ト思ヒマスカラ先ツ此方カラ申上ゲヤウト思ヒマス、昨日ノ委員會ノ終リニ於テ問題トナリマシタ點、即チ此農工銀行ガ持ッテ居ル抵當權ト云フモノニ付テノ問題デゴザイマスガ、此抵當權者タル勸業銀行ハ其抵當權ノ上ニハ直接ノ物權ヲ持ッテ居ル、併ナガラ其抵當權ガ擔保トシテ居ル所ノ債權ト云フモノ、上ニ質權ヲ持ッテ居リマスカラシテ、其結果トシテソレニ續イテ居ル所ノ抵當權ト云フモノヲ實行スルト云フコトガ伴ッテ參リマス、ソレ故結果カラ申シマスルト恰モ勸業銀行ハ抵當權ノ上ニ物權ヲ持ッテ居ル等シイヤウニナルノデ、ソレ故ニ假ニ農工銀行ガ破産ト云フヤウナコトニ立至リマシテモ、他ノ債權者ガ其抵當ヲ如何トモスルコトハ出來ナイ、兎ニ角債權ノ方ノ實行ヲ勸業ガ作レバ其結果抵當權ハ破産ニ關係ナク其抵當權ヲ實行ガ出來ヤウト思ヒマス、ソレ故其點ハ昨日ノ終リノ問題トナリマシタ點ヲ一言補ッテ置カウト思ヒマス、ソレカラ昨日第二項ノ修正案ヲ申上ゲマシテゴザイマスガ、其案ハ段々大藏省トノ協議ヲ遂ゲマシタ所ガ、實際到底此案ノ目的ヲ達スルコトガ出來ヌト云フコトヲ發見イタシマシタ故ニ、今日更ニ別ノ修正案ト申ス譯ニハ行キマセヌガ、斯ウ云フ風ニ修正シタラドウデアラウカト云フ意見ヲ持ッテ居リマス、ソレヲ諸君ノ御參考マデニ述ベヤウト思ヒマス、此事ニ付キマシテハ此案ハ大藏省デ出來タノデアリマスカラ、大藏省ノ參事官塚田君ガ出テ居ラレマスカラ、塚田君カラ御説明ニナルノガ適當ト考ヘマス

○説明員(塚田達二郎君) 此勸業銀行ガ農工銀行ノ貸付金ヲ擔保ニ取リマシテ金ヲ貸ス上ニ付テ勸業銀行ガ其場合ニ持ッテ居ル物權ハ債權上ニ質權ヲ持ッテ居リマスガ、農工銀行ガ貸付ケマシタ其貸付金ニ付テ擔保ニナッテ居ル所ノ

抵當權ニ付キマシテハ、其抵當權及其抵當物ニ付キマシテハ、勸業銀行ト云フモノハ毫モ物權ヲ持タヌノデアリマス、毫モ物權ヲ持チマセヌ以上ハ物權ニ關係スル權利ノ無イ以上ハドウスルコトモ出來ナイト原案ニ書イテアリマス、第二項ノ前項ノ場合ニ於テハ抵當權ノ登記ニ附記スルコトヲ要スルトアル此第二項ノ規定ハ要ルマイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、ソレカラ又勸業銀行ガ農工銀行ノ債權ヲ抵當トシテ貸付ケマシタ上ニ付テハ唯今政府委員カラ御説明ガアリマシタ通りニ、抵當權ヲ實行シテ農工銀行ノ持ッテ居ル抵當物カラシテ返済ヲ受ケルコトモ出來ルデアリマセウケレドモ、ソレダケデハマダ勸業銀行ノ方ハ自分ノ貸付金ヲ基礎トシテ債券ヲ發行スルコトガ出來ナイノデアリマス、ナゼ出來ナイカト申シマスレバ勸業銀行ノ發シマスル債券ト云フノハ抵當權ヲ基礎トシナケレバナラヌノデ、此場合ニハ勸業銀行ハ農工銀行ノ債券ヲ抵當ニ取ッテ居リマスケレドモ抵當權ヲ持ッテ居リマセヌカラ、其貸付ケタ金額ヲ基礎トシテ割増債券ヲ發行スルコトハ出來ヌ結果ニナリマス、ソレデ其不備ヲ補ヒマスヌメニ矢張り勸業銀行ハ農工銀行ノ持ッテ居ル抵當權ノ上ニ、更ニ抵當權ヲ持ッテ居ルコトノ規定ヲシテ詰リ農工銀行ガ抵當權者デアッテ勸業銀行ガ農工銀行ノ持ッテ居ル抵當權ニ付キマシテ、己レガ抵當權トシマシテソレヲ基礎トシテ債券ヲ發行スルコトガ出來ルヤウニ規定ヲ修正スルコトヲ必要ト認メルノデゴザイマス、ソレデアリマスカラ其目的ヲ達シマスニハ第一項ニ「年賦償還貸付金ノ債權及其抵當權ヲ擔保トシテ日本勸業銀行ヨリ年賦償還ノ方法ニ依リ貸付金ヲ爲スコトヲ得」トアリマス、即チ「及其抵當權ヲ擔保」ト云フ文字ヲ加入スルト云フコトガ必要デアラウト思ヒマス、若シ之ヲ加入シマシタラバ唯今申シマシタ所ノ不備ト云フモノガ是ニ依テ補フコトガ出來ヤウト思ヒマス、又一方ニハ勸業銀行ガ農工銀行ニ貸付ケマシタ所ノ債權ト云フモノガ農工銀行ノ債權ニ依ッテモ擔保セララルシ、債權ヲ抵當トシテ其債權ノ上ニ抵當權ヲ持ッテ居リマス、又農工銀行ガ持ッテ居ル抵當權ノ上ニ付テモ尙ホ抵當權ヲ持ッテ居ルカラ勸業銀行ノ貸付金ガ二ツノモノニ依テ保護セラレルト云フ結果ガ生ズルノデアリマス、デ畢竟勸業銀行ノ貸付ノ確實ト云フコトヲ増スコトニナリ、又勸業銀行ノ目的ヲ達スル上ニ付テ最モ必要デアリマスカラ、若シ此貸付ト云フモノガ法案ノ實質ガ適當デアラナラバ法案ノ形式ニ斯ウ云フ工合ニ修正ヲサレタ方ガ適當ノモノト考ヘマス、其結果トシテ唯今申シタ通り第二項ハ不用ニナリマスカラシテ、之ヲ削除シテ第一項ダケ十分目的ヲ達シ得ル積リデアリマス

○富井政章君 私ハ此法律案ノ特別委員デアリマセヌガ、昨晚委員長ヨリ懇切ナル御手紙ヲ請取リマシタ、此法律案ハ民法ニ隨分重大ノ關係ヲ有ッテ居ル法律案デアアル、私ハ民法ノ起草ニ與リマシタ故ニ若シ意見ガアルナラバ

出席シテ述ベヨト云フコトデアリマシタニ依ッテ罷出タノデアリマス、丁度昨日マデ風ヲ引イテ引籠ッテ居リマシタ故ニ昨日此案ヲ一讀イタシタノデアリマス、此案ヲ一讀イタシテ私ノ起シタ考ヲ先ツ申上ゲヤウト思ヒマス、ソレカラ唯今此席ニ參リマシテ政府委員田部君並ニ塚田君ノ御意見を伺ッテ更ニ新ナコトヲ知ッタノデアリマスニ依ッテ私ノ今マデニ考ヘテ居リマシタコトハ或ハ十分デナイカモ知レマセヌ、併ナガラ正直ニ先ツ其考ヘタ事柄ヲ申上ゲヤウト思ヒマス、先ツ此法律案ノ條文中ニ於キマシテモ第一項ハ實際ノ必要ニ起ッテ來タデアラウト察シテ居リマス、即チ茲ニ規定シテアル所ノ銀行ハ抵當權ヲ設定セシムルニアラザレバ貸附ヲ爲スコトヲ得ザル原則ニ對シテ一ノ變例ヲ設クル譯デアリマス、即チ債權ヲ質トシテ貸附ヲ爲スコトヲ得ルト云フコトニシタイト云フノデアアル、直ニ抵當ヲ取ッテ金ヲ貸スト云フコト、抵當ニ附イタ所ノ債權ヲ質ニ取ッテ金ヲ貸スト云フコトハ固ヨリ同一デ無イノデアリマスカラ、茲ニ書イテアルコトガ出來ルヤウニスルニハ固ヨリ斯ウ云フ規定ガ必要デアラウト思フノデアリマス、デ即チサウ云フ必要ヨリ起ッタ規定デアラウト考ヘマスルノデ、實際ノコトハ私ハ存ジマセヌガ、第一項ニ付イテハ何ノ申分モ無イト考ヘマシタノデアリマス、第二項ハ如何ナル主意ニ依ッテ置カレタモノデアアルカ、私ノ考ヘタ所デハ第二項ハ無クテ宜イ規定デアラウト思ヒマシタ、先ツ此項ヲ置カレタ主意ヲ察スルニ斯ノ如キ規定ガ無イ時ハ農工銀行ガ勝手ニ其抵當權ヲ他人ノ爲ニ處分スルコトガアルカモ知レヌ、若シ斯ノ如キコトガアツタラバ、縱令勸業銀行ガ其抵當權ノ附イタ債權ヲ質ニ取ッテ居テモ如何トモスルコトハ出來ナイ、即チ其抵當權ニ付イテドウ云フコトヲシテ讓受人ノ如キ第三者ニ對抗スルコトガ出來ナイカラ、是ハドウシテモ登記シナケレバナラヌ、而シテ抵當權ハ既ニ登記シテアルニ依ッテ態ノ新規ノ登記ヲセズトモ其抵當權ノ側ニ附記スレバ足ルコトデアラウト云フ主意カラ置カレタ規定デアラウト察シマス、若シ然ラバ斯ノ如キ規定ハ無クテモ十分ニ其目的ヲ達シ得ラレルコト、信ズルノデアリマス、其譯ハ抵當權ノ附イタ債權ガ質ニ這入ッテ居ルト云フコトハ質權者ト質入主並ニ第三債務者トノ關係ハ如何ナルモノデアアルカ、即チ此抵當權ニ付イテノ關係ハ如何ナルモノデアアルカト云フコトハ、極メテムヅカシイ問題デアラウトハ思ヒマス、學校デ言フヤウナコトヲ此處デ申上ゲテモ實ニ利益ハ無イコトデアラウト思ヒマスケレドモ、私ノ考デハ勸業銀行ハ決シテ抵當權ノ上ニ質權ヲ得タノデモ抵當權ヲ得タノデモ無イト思フ、抵當權ニ依ッテ擔保セラレテ居ル所ノ債權ヲ、質權ノ目的トシテ取得シタモノデアアル、抵當權ノ上ニ抵當權ヲ取得スルト云フコトハ民法ノ規定デハ出來ナイコトハ疑ナイト思フノデアリマス、即チ抵當權ノ目的トナルベキ物權ハ民法ニ十分限定シテアリマス、又其抵當權ガ直接ニ勸業銀行ノ爲ニ質權ノ目的トナルコトモ決シテ無イト思フ、抵當權ハ從タル權利デアリマス、之ニ因ッテ擔保セラレテ居ル所ノ主タル債權ガ勸業銀行ノ爲ニ質權ノ目的トナッタノデアアル、唯勸

業銀行ガ其質權ヲ實行スルニ當ッテ抵當權ヲ行フコトガ出來ル、辨濟ヲ受ケル確實ノ方法ヲ得テ居ルト云フコトデアアル、抵當權ヲ對抗セラル、者ノ方カラ言ヘバ今マデ農工銀行ガ實行スルノデアラッタガ後來ハ勸業銀行ガ實行スルト云フコトニナッタマデノコトデアアル、即チ權利其モノハ變更シナイ、權利其モノハ移轉シナイ、權利ニ關スル一種ノ變更デアアル、主體ニ關スル變更デアアル、尤モ此コトニ付テ唯今塚田君トチヨット話ヲ開イテ見マシタガ塚田君ノ御意見ハ反對デアアル、物權ノ變更トハ言ヘナイデアラウト云フ御意見デアアル、成程疑ハ確ニアルト思ヒマス、併ナガラ私ハ此變更ト云フ語ヲ廣ク解スル方デアリマシテ先ツ物權ノ變更ト云フテ差支ナカラウ、サウシテ見レバ既ニ民法ナリ普通ノ實體法ニ依ッテ登記ヲセナケレバ第三者ニ對抗スルコトヲ得ナイト云フコトニナッタ居ル、而シテ其登記法ヲ見マス、登記法ノ第一條ニハ處分ノ制限ト云フコトガアル、今後農工銀行ハ其抵當權ヲ處分スルコトガ出來ナイト云フコトデアアル、ソレヲ第三者ニ對抗スルコトヲ得ルヤウニスルニハ登記ヲセナケレバナラヌ、登記法ノ第一條ニ謂フ所ノ抵當權ノ處分ノ制限デアアルト思ヒマス、ソレ故ニ私ノ考ハ極ク嚴格ニ云ヘバコンナ第二項ハ要ラナイ、斯ノ如キ規定ナクとも處分ノ制限トシテ無論登記セバナラヌコトデアアル、固ヨリ登記セナカッタシテ、サウシテ農工銀行ガ萬一不正ニ其抵當權ヲ處分スルト云フ如キコトガアツタラバ勸業銀行ハ農工銀行ニ損害要償ノ權利ヲ有スルコトハ言フヲ待タナイコトデアアル、然レドモ第三者ニ對抗スルニハ登記ヲ要スルコトハ勿論デアリマス、而シテソレハ斯ノ如キ第二項ノ規定ガナクテモ民法ト登記法トノ自然ノ作用デサウ云フコトニナルノデアラウト私ハ考ヘマス、ソレカラ附記ト云フ言葉ニ少シ病ハナイカ、是ハ私ハ十分ニ知ラナイ語デアリマス、登記法起草者タル田部君ニ伺ヘバ分ルコトデアリマスガ、登記法ノ用例デハ附記ト云フ言葉ハ極ク廣イ意味ニ用井テアル、物權其モノガ移ルトカ云フ如キ物權關係ニ根本的變動ヲ生ズル場合ニ用井ルコトニナツテ居リハセヌカ、サウシテ見レバ本案ノ場合ノ如キ唯抵當權ヲ行フ者ガ變ルト云フダケノコトヲ附記トスルト云フコトハ此登記法一般ノ用例ニ違フコトハナイカ、是ハ私ハ登記法ニ精シクアリマセヌカラ確ナコトハ申サレマセヌガ、田部君ノ御説明ヲ煩シタイト思ヒマス、ソコデ私ハ今申上ゲマシタ通り如キ規定ガナイ、サウシテ附記ト云フ規定ガアルノトニ依ッテ結果ガドウ違フカト云ヘバ則チ登記ノ仕方ガ多少違フダケノコトデアアル、此規定ガナクシテ處分ノ制限ヲ登記スルト云フコトデアレバ普通ノ登記デアラウト思フ、規定ニ依ッテ爲ス登記ハ登記ヲスル帳面上ノ場所ガ違フダケノコトデアアル、ソレハ幾ラカ一ツ場所ニ書クト云フ便宜ハアルカ知レマセヌガ、先刻申上ゲマシタ通り登記法一般ノ用例ニ反スルコトデモアリ、且ツソレダケノ爲ニ態々斯ノ如キ規定ヲ設ケル必要ハ無カラウ、唯普通一般ノ登記デ差支ナイコトデアラウト考ヘマス、ソレ故ニ私ガ昨日此案ヲ一讀シテ起シマシタ考

ハ第二項ハ不必要デアラウ、殊ニ附記ト云フ言葉ニ多少病ガアルト云フコトニ歸著スルノデゴザイマス、併シナガラ是ト同時ニ起リマシタ考ハ此案ハ私ハ實際ノコトヲ能ク知リマセヌガ實際極メテ必要デアラウト見テ出タ案デナカラウ、タシカ政府提出案デハナイト思ヒマスガ、政府モ同意セラレテ居ルコトト信ジマス、若シ果シテ實際必要デアルト云フコトデアレバ第二項ノ如キ有テ非常ニ害ガアリ或ハ民法登記法ナドト抵觸シテ不都合極ル言葉ヲ用非テアルト云フコトデナイ以上ハモウ會期モ一日二日ト云フマデニ切迫シテ居ルデアリマシテ之ヲ衆議院ニ廻セバドウカ斯ウカ間ニハ合ヒマセウカトハ察シマスケレドモ甚ダ危険デハナイカ、若シ不幸ニシテ僅カ時ガ足ラナイト云フ爲ニ通過セザルコト、ナラバ更ニ少クモ一年間ハ斯ウ云フコトガ出來ナイト云フコトニナルデアリマスカラ、ソレデ法律上ノ意見ハ唯今申上ゲタ通りデアリマスケレドモ、假ニ特別委員ノ一人デアルトシテ此案ガ實際上果シテ必要ナ案デアルトキニハ多少ノ病ハ忍ンデ通過スルコトヲ確メタ方ガ宜クハナイカト云フ考ヲ起シタノデゴザイマス、以上申上ゲマシタコトガ即チ昨日日本案ヲ一讀シテ起シタ考デアッテ今日此席ニ參リマスマデ左様ニ考ヘテ居リマシタ、然ルニ唯今田部君並ニ塚田君ノ御述ベニナツタ所ニ依レバ諸君ハ昨日マデニ御氣付ニナツタノデアリマセウガ私ハ全ク氣ガ付カナンダ一ツノ點ヲ發見シタノデゴザイマス、ソレハ成程抵當權ハ直接ニ勸業銀行ノ爲ニ質權又ハ抵當……質權ノ目的又ハ抵當ノ目的トナツタ、ナイトシテモ其抵當權ヲ利用シテ債權ヲ取立テルト云フコトハ十分ニ出來ル、又農工銀行ガ破産シタト云フ如キ場合デモ勸業銀行ハ優先權ヲ持ツト云フコトハ認メラレテ居ル唯私ノ氣付カナカッタコトハ勸業銀行ノ貸付ヲ爲ス權利ノ範圍ト云フモノハ其有スル所ノ抵當權ノ、抵當權ニ依ッテ定マルト云フコトニナツテ居ルト云フコトデアリマスガ、サウシテ見レバ唯抵當權ノ付イタ債權ヲ有スルダケデハ足りナイ、直接ニ物權トシテ抵當權ヲ有スルト云フコトニナラネバ、其廣イ貸付權ヲ持タナイト云フコトニナル、ソレ故ニ抵當權ノ付イタ債權ヲ質ニ取ッテ居ルト云フコトデナクシテ此債權モ亦其抵當權モ一ツ持ッテ居ルト云フコトニシタイ、第三債務者ニ對シテ抵當權ノ力デ取立ヲ爲スト云フコトハソレハ先刻カラ私モ述ベマシタ通り十分ニ出來ル、ソレハ大丈夫デアル、ソレカラ又農工銀行ガ不當ノ其抵當權ヲ處分スルト云フ如キコトモ防ゲルコトデアルカラ心配ハ無いガ、何ニシテモ勸業銀行ガ直接ニ抵當權ヲ持ツト云フコトニナラネバ債權ヲ先刻貸付ト申シタノハ誤リデアリマシタ貸付……債權ノ反對デアル、債券募集ガ出來ナイカラ困ル、是ガ此席ニ參ッテ初メテ承ルコトデ、私ハサウ云フコトニハ一向暗イデアリマスカラ大藏省ノ方ガサウデアルト言ハレタナラバ別段意見ハアリマセヌ、唯私ノチヨット考ヘタ所デハ直接ニ抵當權ヲ持ッテ居ラズトモ抵當權ニ附イテ居ル債權ヲ持ッテ居ルノデアル、サウシテ見レバ何も直接ニ自分ガ抵當權ヲ持ッテ居ラズトモ其債權ヲ持ッテ居ル以上ハ恰モ抵當權ヲ持ッテ居ル如クニ見テ債券募集ヲ爲スコトヲ得

ルヤウニモ思ハレマスケレドモ、ソレハサウデナイカモ知レマセヌ、又斯カル事柄ニ就テ假令チヨット私ノ感シタ所ハ至當デアルトシテモ疑ガ存シテハ宜シクアルマイ、斯ノ如ク甲ハ斯ク考ヘルガ乙ガ斯ク考ヘル如キ疑問ヲ生ズルヤウナコトハアッテハ宜シクアルマイト思フ、成ルベク明確ニ定メテ置クコトハ必要デアリマセウ、ソレ故ニ今ノ様ナ點ニ付テハ贊成ヲシテ當局者ノ御意見ニ別段反對スルト云フ譯デハアリマセヌ、ソレハ唯今マデニ氣付カナカッタ點デアリマス

○說明委員(塚田達二郎君) 唯今富井博士カラ詳細ナル説明ガゴザイマシテ、ソレニ就キマシテハ特ニ此第二項ノ不必要デアルト云フコトヲ懇々ト詳細ニ御述ベニナリマシタ、至極御尤ノ御考ト存ジマス、ソレデ博士ノ御述ベニナリマシタ所ノ第二項ノ規定ハ大藏省ノ方ノ側デモ要ルマイト云フ考ヲ有ッテ居ルノデ、第一項ニ就テモ先程モ述ベテ置キマシタガ、勸業銀行法中ノ改正案ニ先程述ベマシタ改正ノ文字ガ這入リマシタ以上ハ、其反射トシテ農工銀行法中ノ改正ニモ矢張り同シ文字ガ這入ラナケレバ彼是ノ權衡ガ取レナイト思ヒマスカラシテ同様ニ修正ヲシテ鈞合ヲ取ル必要ガアラウト思ヒマス、ソレデ農工銀行法中ノ改正ノ第一項中ニ「農工銀行ハ年賦償還貸付ノ債權及其抵當權ヲ擔保トシテ日本勸業銀行ヨリ年賦償還ノ方法ニ依リ貸入金ヲ爲スコトヲ得」ト云フコトニ修正イタシマスレバ彼是能ク鈞合ヲ得ヤウト考ヘマスカラ、チヨット申シテ置キマス

○委員長(伯翁正親町實正君) チヨット速記ヲ止メテ下サイ  
(速記中止)

○委員長(伯翁正親町實正君) ソレデハ……

○子爵新莊直陳君 唯今政府委員ノ此勸業銀行及農工銀行法中改正ニ付キマシテノ意見ヲ承リマシタ所ガ、此修正案ハ至極適當ノモノト本員ハ考ヘマサルデスカラ此日本勸業銀行ハ農工銀行ノ年賦償還貸付金ノ債權及其ノ擔保タル抵當權ヲ擔保トシテ年賦償還ノ方法ニ依リ云々、ソレカラ「前項ノ場合ニ於テハ」ト云フ第二項ヲ削除イタシマス、ソレカラ農工銀行法ノ方ニ於キマシテハ「農工銀行ハ年賦償還貸付金ノ債權及其ノ擔保タル抵當權ヲ擔保トシテ日本勸業銀行ヨリ」云々ト云フコトニ修正ヲ致シタウゴザイマス、諸君御贊成ヲ希望イタシマス

○委員長(伯翁正親町實正君) チヨット今問題ニハシマシタケレドモ、此日本勸業銀行法ノ方カラ極メテ戴キタウゴザイマス

○子爵山口弘達君 贊成

○角田林兵衛君 修正ニ贊成

○委員長(伯翁正親町實正君) 今新莊君ノ此修正ニ御異議ハアリマセヌカ  
(異議ナシト呼フ者多シ)

○委員長(伯翁正親町實正君) ソレデハモウ別ニ二讀會三讀會ノ順序ハ省略シテ確定イタシマス、其次ハ農工銀行法中改正案、是ニモ今新莊君カラ修正

ガアリマシタ

○子爵山口弘達君 新莊君ノ修正ニ賛成

○委員長(伯爵正親町實正君) 是モ別段御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵正親町實正君) ツレデハ其通りニ決シマス、ツレカラモウ一ツ此農工銀行法中……此農工銀行法四十八條中改正……

○男爵小澤武雄君 是ハ此原案ノ通りニナリタイト考ヘルノデス、段々此コトニ付イテ承ツテ見ルト北海道ニ於テハ先ツ今日必要モアルマイカラ之ヲ改正スルニハ及ブマイト云フコトモアルサウデゴザイマスケレドモ、又一方カラ承ルト云フト先年北海道ニ於テハ農工銀行ヲ組織シタイト云フ者ガアツテ出願ノ手續マデシタ者ガアツタガ、法律ニ適從スル所ガ無イニ依ツテ更ニ見合シテアルト云フコトモタシカ有ツタ趣デアアル、又昨年ハ北海道會ニ於テモ農工銀行ト云フモノヲ北海道ニモ設ケル必要ガアルト云フ主意ヲ以テ道會ノ決議ヲ以テ其筋ヘ建議シテアル趣デアリマスカラ、之ヲ衆議院カラ提出ニナツタモノデゴザイマスカラ、此儘本院ニ於テモ通過シテ法律トナツテ一向差支ナカラウト思ヒマスカラ、原案通りニナラムコトヲ希望イタシマス

○委員長(伯爵正親町實正君) 別ニドナタモ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵正親町實正君) サウスルト此通りニ決シテ御異議ハ無イデスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵正親町實正君) サウスルト是デ此會ハ終リマシタ

午後零時二十四分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵正親町 實正君

委員

子爵山口 弘達君 子爵新莊 直陳君 男爵小澤 武雄君

男爵小早川 四郎君 南郷 茂光君

角田 林兵衛君 山本 忠秀君

委員ニアラサル議員

富井 政章君

政府委員

大藏省理財局長 松尾 臣善君

大藏省參事官 塚田達二郎君

大藏省參事官 塚田達二郎君

大藏省參事官 塚田達二郎君

大藏省參事官 塚田達二郎君

大藏省參事官 塚田達二郎君

大藏省參事官 塚田達二郎君

大藏省參事官 塚田達二郎君

大藏省參事官 塚田達二郎君

大藏省參事官 塚田達二郎君

大藏省參事官 塚田達二郎君

大藏省參事官 塚田達二郎君

大藏省參事官 塚田達二郎君

大藏省參事官 塚田達二郎君

大藏省參事官 塚田達二郎君

大藏省參事官 塚田達二郎君

大藏省參事官 塚田達二郎君